

令和6年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の  
サルによる被害防止管理委員会 会議録

1 会議の名称	令和6年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和6年7月22日(月) 14時00分～15時00分
3 開催場所	富津市消防防災センター 会議室
4 審議等事項	(1) 令和5年度事業報告及び決算について
5 出席者名	委員 小泉義行、荒井淳一、岡根 茂、粕谷哲也、平島敏一 橋本 威、嶋野利郎、相川正和、池田文隆、清田義昭 オブザーバー 松浦 誠(千葉県教育庁教育振興部文化財課) 西川歩美(千葉県環境生活部自然保護課) 事務局 (調査団) 直井洋司、白鳥大祐 (富津市) 中山淳子、篠田優子、牧野啓介、金木佑天 (君津市) 塚越直美、當眞紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市)篠田 生涯学習課長	<p>本日は、何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の篠田でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、資料の確認をさせていただきます。</p>
(富津市) 金木主任主事	<p>お配りしました資料の確認をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 会議次第</li> <li>2 委員名簿</li> <li>3 席次表</li> <li>4 委員会設置要綱</li> <li>5 令和5年度事業報告書</li> <li>6 令和5年度決算書（案）</li> <li>7 千葉県自然保護課提供資料</li> </ol> <p>以上の7点です。</p>
(富津市) 篠田課長	<p>それでは、令和6年度第1回天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>出欠席の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、出席者10名、欠席者3名です。</p> <p>よって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>本日の会議は、公開となります。会議終了後、会議録を作成し、富津市および君津市のホームページにて公開いたします。なお、本日の傍聴人はおりません。会議録作成のために録音をさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>委員の変更がありますので、ご報告いたします。</p> <p>富津市建設部農林水産課鳥獣対策室長が、平島様に 千葉県中部林業事務所長が、宮川様に 今年度より委員に就任していただいております。</p>

<p>小泉委員長</p>	<p>また、千葉県教育庁教育振興部文化財課 松浦様、 千葉県環境生活部自然保護課 西川様に 今年度よりオブザーバーに就任していただいております。</p> <p>続いて、委員長であります小泉富津市副市長からご挨拶申し上げます。</p> <p>(委員長挨拶)</p>
<p>(富津市) 篠田課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここからは、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を小泉委員長にお願いいたします。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>議長を務めさせていただきます。皆様方には、スムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に会議録署名委員2名を決めたいのですが、慣例により私から指名してよろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ご異議もないようですので、橋本委員、平島委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。議題(1)令和5年度事業報告及び決算について、事務局の説明を求めます。</p>
<p>(君津市) 當眞文化振興 担当主幹</p>	<p>令和5年度事業報告について説明いたします。</p> <p>本事業の目的は、天然記念物「高宕山のサル生息地」のニホンザルを管理し、サルによる農作物等への被害を抑止するとともに、地域住民の生活と文化財である野生動物との共存を目指すものであります。</p> <p>1 被害防止</p> <p>(1) 電気柵による被害防止</p> <p>①維持管理</p> <p>本事業対象の電気柵の点検・改修を行いました。報告書に本事業対象電気柵の一覧がございます。また、電気柵の点検結果を掲載しております。</p>

## ②改修

富津市宇藤原地区のU 6 +U12+U16 及びU23 の 300m分、君津市怒田沢地区のK 8 の 200m分の改修を実施しました。

### (2) 被害多発期の追い払い

8月24日から8月26日までの期間、追い払いを行いました。追い払い中でのサルの群れとの遭遇はありませんでした。

### (3) 被害実態調査

3月に合計45戸を対象に聞き取り調査を実施しました。調査した場所は、富津市28戸(宇藤原10戸、それ以外18戸)、君津市17戸を対象としました。

昨年度の調査結果と比較して被害率・被害指数を見ますと、わずかながら減少している傾向がありました。しかし、いまだに「被害が大きい」という回答があるのが現状です。

近年では、報告書記載の品目以外にも新たに被害に遭う作物が出ています。特にジャガイモの被害が多く見られるようになってきました。

## 2 生態調査と個体数管理

### (1) 電波発信器装着のための捕獲

電波発信器を装着するために箱ワナを7か所に設置しました。令和5年度は、合計3頭の捕獲がありました。捕獲個体には麻酔をし、外部計測、形態による交雑判定、血液サンプル採取を実施しています。

捕獲個体のうち発信器装着個体は、君津市怒田沢捕獲のヌタヨ1頭です。

形態による交雑判定では、君津市怒田沢捕獲の1頭が交雑と判定され安楽殺処分となりました。判定は、相対尾長による基準と体毛色の違いによって行っています。残りの1頭は放獣しております。

### (2) 生態調査

令和5年度の追跡対象は、田倉群・小倉A群・西日笠A群・ヌタヨ群(仮称)・旅名A群の5群です。ヌタヨ群については、電波発信器を装着したのが2月末頃でしたので群れの特定が完了しておらず、仮称としております。また、マツの電波発信器の電波が8月頃に途絶えているため、それまでの調査結果となっております。

令和5年度末時点での電波発信器装着個体は、合計6頭となっております。

各群れの遊動域は、令和4年度と比較して全体的にあまり大きな変化はみられませんが、西日笠A群については、北側の君津市植畑で確認されております。なお、西日笠A群のマツについては、発信器を装着して追跡した期間が令和5年2月から8月の約7か月間であり、冬の遊動域から夏の遊動域に変化した可能性も考慮されるため、一概に遊動域が広がったとは言い切れないものになります。

令和6年2月にヌタヨに電波発信器が装着されましたが、西日笠A群と同じ群れの可能性もあり、引き続き調査を行います。

### (3) 個体数管理

富津市農林水産課鳥獣対策室、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき、取りまとめました。令和5年度の駆除数は、富津市70頭、君津市22頭、合計92頭となっております。

### 3 天然記念物指定地域の生息環境調査

富津市宇藤原の峰上ステーションで気温と降水量を測定しています。自動観測機器により年度末にデータを吸い上げておりましたが、令和5年度は機器に不具合があり、9月25日までのデータの取得となりました。現在、観測機器は一度リセットして状況を確認しております。今後、専門的な修理や更新が必要な場合は、予算の調整等が必要なため、調査団と協議してまいります。

以上、報告いたします。

(富津市)  
牧野文化係長

続きまして、令和5年度「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業決算(案)について、ご説明いたします。

#### (歳入)

予算額 4,473,000円

収入済額 4,473,000円

#### (歳入内訳)

富津市 2,460,000円

君津市 2,013,000円

計 4,473,000円

	<p>(歳出)</p> <p>予算額 4,473,000 円</p> <p>支出済額 4,473,000 円</p> <p>(歳出内訳)</p> <p>報償費 24,000 円</p> <p>賃金 2,047,000 円</p> <p>旅費 236,890 円</p> <p>需用費 2,150,703 円</p> <p>役務費 14,407 円</p> <p>計 4,473,000 円</p>
小泉委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>補足等はございますか。</p>
(調査団) 白鳥	<p>群れの追跡について補足します。</p> <p>今日現在の状況として、田倉群とヌタヨ群の電波発信器が脱落しました。現状、装着しているのは、富津市の小倉A群、君津市の旅名A群の2群です。田倉群は、電池寿命が過ぎたため脱落させました。ヌタヨ群については、有害鳥獣駆除により脱落となりました。</p>
小泉委員長	<p>事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございますか。</p>
清田委員	<p>地元農家からいまだに被害が大きいと言われているとのことでしたが、直近3年間の被害率等が低下しているため、当委員会の事業評価としては十分に評価してよいのではないかと思います。</p> <p>一方で、被害率等が低下した要因としては、被害状況の集計について何かしら集計方法の変化や、サルの群れの規模が縮小したことなどがあるのでしょうか。</p>
(君津市) 當眞主幹	<p>被害率の低下から、実際の被害も減少したと思われませんが、昨年度に比べて耕作数が減少しており、それにより調査数の分母が減少しておりますので、これが被害率の低下につながっている可能性があります。</p> <p>また、品目によっては「被害が激しい」という回答がありますが、中には、昨年度より被害状況が改善されているものもありますので、電気</p>

	<p>柵の効果と地元住民の努力があると思われます。しかし、調査品目以外にも被害が出ているということもあり、地元住民には、まだ被害が続いているという認識があるようです。</p>
<p>(調査団) 直井団長</p>	<p>補足します。作付けの量は明らかに減少しております。それが被害率の低下につながっているというのは大きいと思われます。被害の減る要因として、夏の終わりから秋にかけての山の食べ物の出来が大きく左右します。具体的には、アケビの実やドングリです。令和5年度はアケビがよく実っていたため、サルがそれを食べていたのではないかと思われます。</p>
<p>嶋野委員</p>	<p>宇藤原区長の嶋野です。 被害が多いために作付けを止めた耕作地が実際にあります。それは調査対象から外れますので、被害率が低下する要因になっていると思われます。</p>
<p>清田委員</p>	<p>ありがとうございます。 自然のもの相手ですので、難しい部分も多いと思いますが、被害調査としては、拾える要素を拾い、評価として分析する手法を持っていたほうがよいと思います。</p>
<p>(調査団) 白鳥</p>	<p>評価の指標については、君津市側で新規に設置した電気柵で囲った畑では、被害が著しく減少しています。</p>
<p>池田委員</p>	<p>富津市の宇藤原・高溝地区以外は、当事業の対象外であり、耕作者自身が柵などを設置しているものです。被害調査については、当事業対象地との比較参考として見ていただければよいかと思います。 また、最近では、耕作者自身が畑に屋根付きの柵を設置してサル対策をするなどの自助努力が見受けられます。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にいかがですか。 他にご質問もないようですので、議題（1）令和5年度事業報告及び決算について、ご承認いただけますでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>

<p>小泉委員長</p>	<p>ありがとうございます。本件は承認されました。</p> <p>続きまして、次第の4 千葉県における今後の方針等について 本日、千葉県教育庁教育振興部文化財課より松浦様が、また、千葉県環境生活部自然保護課から西川様がお見えになっておりますので、今後の方向性について助言をいただきたいと思います。 まず、千葉県文化財課の松浦様からお願いいたします。</p>
<p>(千葉県) 松浦</p>	<p>私からは、天然記念物の保護行政についてお話させていただきます。 天然記念物においては、何か行う場合に現状変更が必要な範囲がございます。当事業につきましても、実施前に現状変更届をご提出いただいております。今後、天然記念物指定範囲に生息するサルの群れの特定や現状変更の必要な範囲を文化庁と協議することができれば、要現状変更の変更等も可能になります。ただし、そのためには、科学的なデータに基づく必要があります。ニホンザルの保護と被害防止については、従来通りに努めていただければと思います。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ありがとうございました。 続きまして、千葉県自然保護課の西川様、よろしくお願いいたします。</p>
<p>(千葉県) 西川</p>	<p>千葉県自然保護課にて実施しているニホンザル生息状況調査についてお話させていただきます。 まず、令和5年度の実績についてご説明いたします。</p> <p>1 交雑個体除去目的の捕獲 鋸南町・南房総市に小型檻・大型檻を設置しています。合計50頭が捕獲され、うち16頭が形態判定によりニホンザルと判断できなかったため安楽殺処分としました。また、ニホンザルの可能性が高いと判断された個体のうち20頭を農作物等の被害防止のため、安楽殺処分としました。</p> <p>2 群れ追跡調査 (1) 発信器の装着 小型檻で捕獲した2頭、及び市町の生態捕獲事業で捕獲された3頭の</p>

ニホンザルに GPS 発信器を装着し、放獣しました。

## (2) 各群れの状況

ラジオ・テレメトリー法、目視、GPS を活用し、行動域を調査しました。14 群について調査したところ、令和 4 年度に比べて行動域に大きな変化はなく、6 群が鋸南・南房総地域、4 群が勝浦・市原地域、4 群が君津・富津地域を行動域としていました。

## 3 交雑広域モニタリング

### (1) 写真による形態判定

市原市・勝浦市・鋸南町・南房総市・木更津市から、令和 4 年度に捕獲した個体の写真を提供いただき、形態判定による交雑状況を調査しました。平成 29 年度からのデータと併せて判定したところ、全体の 41.8% が交雑個体という結果となりました。

### (2) 遺伝子検査用サンプル収集

交雑状況を遺伝的にモニタリングするため、市原市・勝浦市・鋸南町・南房総市から捕獲したサルの尾をサンプルとして提供していただきました。なお、遺伝子検査は令和 8 年度にまとめて実施します。

## 4 地元担当者への説明会、研修会

ニホンザル関係市町担当者会議・ニホンザル管理研修会を実施しました。

続きまして、令和 6 年度ニホンザル生息状況調査等実施予定について、ご説明いたします。

### 1 交雑個体除去目的の捕獲

100 頭を目標に捕獲実施です。昨年度と同様に、アカゲザルとの交雑が懸念される鋸南町・南房総市を中心に捕獲を行う予定です。

### 2 群れ追跡調査

10 頭を目標に GPS 発信器を装着する予定です。場合によっては、VHF 発信器を装着することもあります。県事業による発信器装着個体、富津市・君津市の天然記念物事業による発信器装着個体を対象にし、位置情

<p>小泉委員長</p>	<p>報を取得し行動域等を解析します。</p> <p>調査員の目視により確認できた場合は個体数、加害状況等を記録します。</p> <p>3 交雑広域モニタリング</p> <p>(1) 写真による形態判定</p> <p>市町から、令和5年度に捕獲した個体の写真を提供していただく予定です。令和5年度以前に提供されたデータとあわせて交雑率を判定します。</p> <p>(2) 遺伝子検査用サンプル収集</p> <p>市町から、今年度に捕獲したサルの尾をサンプルとしてご提供いただく予定です。遺伝子検査は、令和8年度にまとめて実施する予定です。</p> <p>4 群れ一斉把握調査</p> <p>県内に生息するニホンザルの群れの分布、生息数、加害レベル等を把握するため、サル出没カレンダー調査及びルートセンサス調査を実施する予定です。千葉県の場合は、ニホンザルの遊動域も広く、群れ数も多いため、単年度ではできませんので、令和6年度・7年度の2か年で生息数全域を調査する予定です。</p> <p>5 地元担当者への説明会・研修会</p> <p>ニホンザル関係市町担当者会議、ニホンザル管理研修会を実施する予定です。</p> <p>自然保護課からは、以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>お二方のご説明につきまして、ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>ないようですので、その他について、委員の皆様、何かございますか。</p> <p>事務局からはございますか。</p>
--------------	---

篠田課長	<p>ないようですので、議長の職をここで解かさせていただきます。 ご協力ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和6年度第1回天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を閉会いたします。 貴重なご意見、ご審議、ありがとうございました。</p>
------	---